

RYOWA REPORT

株主通信 vol.22

第62期 業績のご報告

平成22年4月1日～平成23年3月31日

空気と水のテクノロジー



空気と水のテクノロジー

株式会社 **テクノ菱和**

私たちテクノ菱和は、環境制御技術を駆使して社会に貢献するとともに、

「環境のトータルエンジニアリング」企業として

地球環境保全に貢献する活動を行い、CSRを重視した経営を実践してまいります。

経営理念

- 「空気と水のテクノロジー」を通じて環境にやさしい生活空間の創造を目指す
- 環境エンジニアリングを中核事業とし、ひろくお客様から「信頼」される企業を目指す
- 人材の育成・教育を重視し働き甲斐のある企業を築き、社会に貢献する

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素より格別なるご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

このたびの東日本大震災により被災されたみなさまには、心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一刻も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、テクノ菱和はこのたび第62期（平成22年4月1日から平成23年3月31日）の決算が終了いたしましたので、ここにご報告申し上げます。

今後ともなお一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。



株式会社テクノ菱和
代表取締役社長

阿部 捷司

営業の概要について

建設業界におきましては、設備投資の抑制が続き、公共投資は大幅に減少するなど、非常に厳しい状況が続きました。

このような状況のなか、当社はこれまでに培ってきた技術力やサービス体制の向上を図るとともに、新規顧客の開拓にも力を入れてまいりました。その結果、設備投資に回復の兆しが見られたことから受注高は増加いたしましたが、前期における建設需要の低迷により期初の手持工事が少なかったため、売上高は前期と

比べて減少いたしました。さらに、利益につきましても、売上高の減少に加え、厳しい受注競争のもと工事粗利益率が低下したことから前期に比べ減少いたしました。

当期の配当金につきましては、株主のみなさまへの安定的な利益還元を考慮して、期末配当金を9円50銭とし、前期と同様年間で1株につき16円とさせていただきます。

次期の見通しについて

第63期は、事業年度後半には震災復興による公共投資の増加が見込まれるほか、設備投資の回復も期待されますが、激しい価格競争により、引き続き厳しい状況が続くものと思われます。

このような状況のなか、まずは震災で被災したお客様の施設の復旧に全力で取り組むとともに、「営業力とコスト競争力の強化」を基本方針に掲げ、早期の収益改善と経営基盤の強化を目指してまいります。具体的には、本社と事業所間の連携を強化して全国的な営業支援を拡大し、海外事業にも注力してまいります。また、新業務システムの活用による業務効率の改善や

経費の削減など全部門におけるコスト意識を徹底し、コンプライアンスの遵守、安全管理・品質確保に関する教育の強化などにも取り組んでまいります。

さらに、電力供給が制約されるなどの影響により更なる省エネ・節電が求められるなか、環境対策・省エネに関する新技術の開発を加速させ、新規事業の展開にも挑戦してまいります。

連結業績見通しにつきましては、売上高571億円、経常利益12億5千万円、当期純利益6億2千万円を見込んでおります。

～さまざまな産業分野において、お客様のニーズに応じたシステムを総合的にご提案できる～
それが「環境のトータルエンジニアリング」企業、テクノ菱和の技術力です。

CO₂削減、未利用エネルギーの活用、省資源化の促進、有害物質の拡散防止…

当社は「空気と水のテクノロジー」を合言葉に、あらゆる技術を駆使して、お客様から求められる生産環境や生活環境を実現してまいりました。

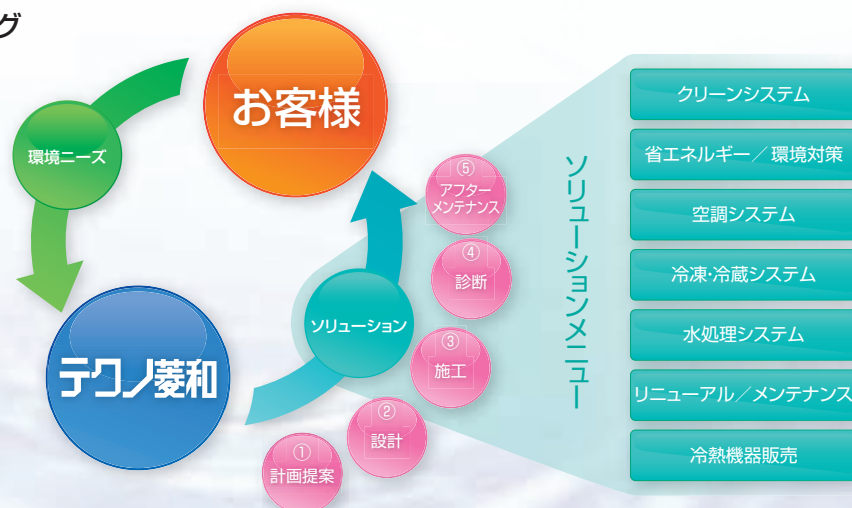
貯蔵用冷蔵庫の開発から始まった当社の技術は、産業界の進展とともに高度化を続け、今日では、超清浄空間の創造や省エネルギー・省資源化システムの開発など、多様な分野へと展開しています。

それらはすべてお客様の「こんな環境がほしい」というニーズから生まれました。今日当社が保有する技術は、お客様とともに歩んできた成果の集約といえます。

これからも、お客様の環境ビジョンの実現に向けた計画提案、設計、施工、診断、アフターメンテナンスといったワンストップサービスを通じて、総合的なサポートを行ってまいります。

環境のトータルエンジニアリング

環境意識の高まりとともに、エコロジー仕様の生産施設やビルの建設は増加しています。こうした需要に対して、当社の技術は、新築・増改築工事はもちろん、既存施設のリニューアルなどにおいても幅広く活用されています。



研究開発活動

知見の集積と新たなチャレンジで環境・省エネ技術の最前線をリードしています。

低コストでエネルギー使用を監視する遠隔計測システム「R-Second Sight」

■ 中小規模のビル・工場にエネルギーの「見える化」

改正省エネルギー法や都道府県条例が施行され、これまで対象とならなかった比較的小規模な事業所も規制の対象となるなど各企業はより広範囲なエネルギー管理、CO₂排出量削減が求められるようになりました。

企業が有効な省エネ対策を実施するには、設備の消費エネルギーの実態を把握した上で、チューニングやシステムの更新を行う必要があります。しかし、従来のエネルギー監視システム（BEMS）は導入費用が高額で、データの活用にノウハウを要するといった問題もあり、大規模な事業所以外での活用は限られていました。

そこで当社は、エネルギー監視を実施していない中小規模のビルや工場向けにエネルギーの「見える化」を提供する計測技術として、無線型センサーとクラウドコンピューティングを組み合わせた低コストでフレキシブルな遠隔「見える化」システム「R-Second Sight」を開発いたしました。

■ ワイヤレス&サーバレスで簡便化と費用低減を実現

従来型の監視システムと違い、本システムの特長としては、まず、無線型センサーの使用により、簡単かつフレキシブルな設置が可能となったことがあげられます。さらに、計測データがインターネット上のクラウドコンピュータ（データセンタ）に蓄積されるため、お客様でサーバを設置していただく必要がなく、システム導入費用を大幅に低減できる

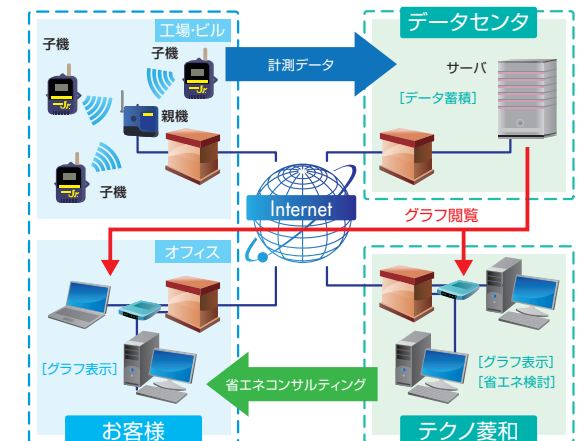
ほか、オフィスのパソコンやスマートフォンなどからも計測データへのアクセスが可能となりました。

■ エネルギーの「見える化」+省エネコンサルティング

本年6月、本システムによるエネルギーの「見える化」を基に省エネ提案・実施・アフターフォローまでを統合したエンジニアリングサービスの提供を開始いたしました。

震災の影響による電力不足のなか、「R-Second Sight」による効果的な節電をご提案し、お客様のご要望にお応えしてまいります。

「R-Second Sight」のシステム構成



リチウムイオン電池の製造環境を支える省エネ低湿度システム「RECODRY」

■ 低湿度環境の維持に必要なエネルギーを削減

太陽光や風力などの自然エネルギーを利用する際や電気自動車への搭載など、充電電池として使用するリチウムイオン電池の重要性が増しております。このリチウムイオン電池の製造過程において水分を嫌う工程があり、一般的に回転ハニカムローター型除湿装置により低湿度環境を維持していますが、この装置の運転には、蒸気・電気等の高温のエネルギーが必要であり、エネルギーコストやこれに伴うCO₂排出量の低減が課題となっていました。

当社はこのたび、省エネ低湿度システム「RECODRY（レコドライ）」を開発し、エネルギーコストおよびCO₂排出量を大幅に削減することに成功しました。「RECODRY」は既存設備への導入が容易で、さらにリチウムイオン電池の製造だけでなく、冷却除湿では不十分な低湿度環境が必要とされる製薬、食品、樹脂成型などの分野においても、広く応用可能なシステムです。



「RECODRY」デモ機

■ 高温の再生排気を循環させることで難題を解決

回転ハニカムローター型除湿装置では、空気を100℃以上に加熱するため、膨大な加熱エネルギーを消費いたします。この場合の省エネ対策として、ローターの回転数、再生空気量および再生空気温度の制御による方法が考案されてきましたが、安定した低湿度環境の維持が難しく、有効な手法とはなりませんでした。

当社が開発した「RECODRY」では、ローターの回転数、再生空気量および再生空気温度は固定し、高温に加熱された排気を循環させることで、加熱エネルギーの削減に成功いたしました。

「RECODRY」の導入により、従来のシステムに比べて20～30%程度の加熱エネルギーおよびCO₂排出量の削減が可能となり、東京都の外気条件における試算では年間27%の削減を見込んでおります。

TOPICS

ジャカルタ駐在員事務所の開設について

平成23年3月末にインドネシア共和国の首都ジャカルタに「テクノ菱和 ジャカルタ駐在員事務所（TECHNO RYOWA LTD. JAKARTA Representative Office）」を開設いたしました。

当事務所では、まずは現地に進出している日系企業と情報交換を行い、現地の設備業者と共同で日系企業の工場における新築・増改築工事の受注を目指してまいります。また、今後の事業展開のための市場調査も進めてまいります。



施工実績

名古屋市科学館 理工館・天文館改築空調工事



概要	
竣工年月	平成23年3月
施工地	愛知県名古屋市
建物用途	教育文化施設
延床面積	22,550.0㎡
物件形態	地上9階、地下2階
工事範囲	空調設備工事

本物件は、名古屋市科学館のうち、「理工館」と「天文館」を一体的に改築するプロジェクトです。「天文館」には、世界最大径のプラネタリウムが収容されています。当社は菱和・カケン・稲垣特別共同企業体として空調設備の施工に携わりました。



株式会社潤工社 KOC第2期工事



概要	
竣工年月	平成22年11月
施工地	茨城県笠間市
建物用途	ふっ素ポリマー製品開発・製造工場
延床面積	18,434.0㎡
物件形態	地上7階
工事範囲	空調換気・給排水衛生・消火設備工事



本物件は、建物に免震構造が採用されており、当社も免震機能を備えた設備を施工いたしました。また、害虫侵入対策および省エネ対策として空調機・排風機をインバータ制御しております。

田辺三菱製薬株式会社 創薬化学研究棟建設工事



概要	
竣工年月	平成23年2月
施工地	神奈川県横浜市
建物用途	研究施設
延床面積	9,719.0㎡
物件形態	地上5階
工事範囲	空調・衛生・中央監視設備工事

本物件は、研究設備用給排気システムとして、オールフレッシュ空調が設置されています。また各実験機器に対し、風量制御を行うとともに中央監視にて空調・実験設備・ユーティリティ・電力の監視および制御を行っています。



株式会社明治 大阪工場 新1号館建設工事



概要	
竣工年月	平成23年2月
施工地	大阪府高槻市
建物用途	食品工場
延床面積	20,835.0㎡
物件形態	地上5階、地下1階、塔屋1階
工事範囲	空調・換気・給排水衛生・消火・ユーティリティ設備工事

食品工場である本物件は、衛生面に配慮し、製造エリア内の機器および配管に埃が溜まるのを防止する工夫をほどこしており、また、各フロアの生産装置側の給排気量の変動に対応するため外気処理空調機をインバータ制御しております。

連結財務諸表

連結貸借対照表の要旨

科 目	前事業年度 平成22年3月31日	当事業年度 平成23年3月31日
(資産の部)		
流動資産	30,928	30,865
現金及び預金	12,457	10,436
受取手形・完成工事未収入金等	16,793	18,856
未成工事支出金等	583	178
その他	1,093	1,393
固定資産	11,953	11,589
有形固定資産	3,665	3,539
無形固定資産	1,093	1,288
投資その他の資産	7,195	6,760
資産合計	42,881	42,454

連結損益計算書の要旨

科 目	前事業年度 自平成21年4月 1日 至平成22年3月31日	当事業年度 自平成22年4月 1日 至平成23年3月31日
売上高	54,518	47,852
売上原価	47,046	42,066
売上総利益	7,471	5,785
販売費及び一般管理費	5,696	5,443
営業利益	1,775	342
営業外損益	138	161
経常利益	1,914	503
特別損益	△136	△21
税金等調整前当期純利益	1,777	482
法人税、住民税及び事業税	810	316
過年度法人税等	—	72
法人税等調整額	119	△71
少数株主損益調整前当期純利益	—	163
当期純利益	847	163

(単位:百万円)

科 目	前事業年度 平成22年3月31日	当事業年度 平成23年3月31日
(負債の部)		
流動負債	17,035	16,999
支払手形・工事未払金等	12,729	14,817
未成工事受入金	1,384	808
その他	2,921	1,373
固定負債	720	757
負債合計	17,755	17,757
(純資産の部)		
株主資本	24,533	24,331
資本金	2,746	2,746
資本剰余金	2,498	2,498
利益剰余金	19,292	19,090
自己株式	△3	△4
その他の包括利益累計額	592	366
純資産合計	25,126	24,697
負債純資産合計	42,881	42,454

連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

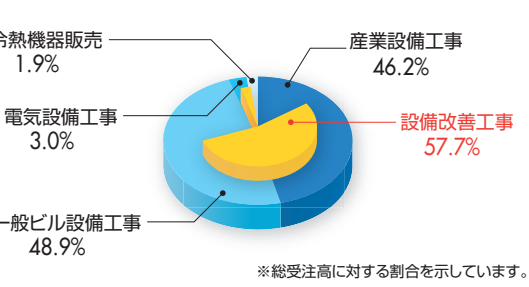
科 目	前事業年度 自平成21年4月 1日 至平成22年3月31日	当事業年度 自平成22年4月 1日 至平成23年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	879	△1,537
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,215	△109
財務活動によるキャッシュ・フロー	△562	△355
現金及び現金同等物の増減額	△898	△2,002
現金及び現金同等物期首残高	12,821	11,922
現金及び現金同等物期末残高	11,922	9,919

Point

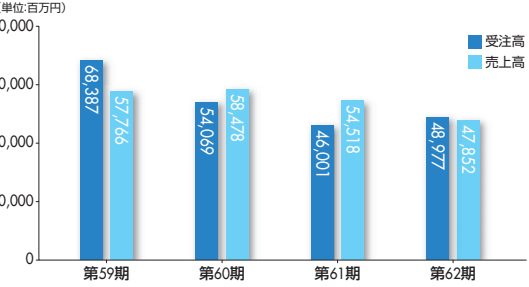
- ①特別損益
特別利益として貸倒引当金戻入額33百万円及び投資有価証券売却益126百万円等を計上したものの、特別損失として投資有価証券評価損124百万円及び減損損失52百万円等を計上したことにより、△21百万円となりました。
- ②無形固定資産の取得による支出
業務システム開発費などソフトウエアの取得のため242百万円を支出しております。

業績レポート

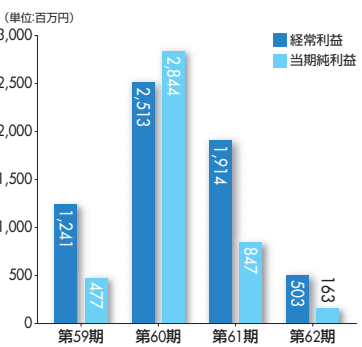
受注高構成比



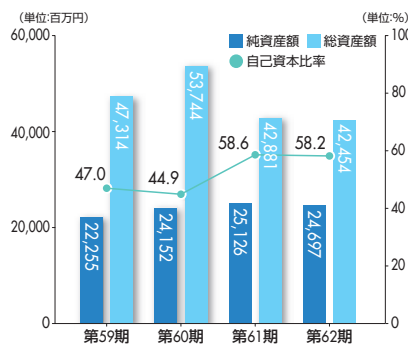
受注高・売上高



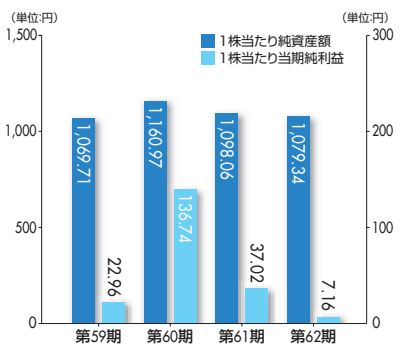
経常利益・当期純利益



純資産額・総資産額・自己資本比率



1株当たり純資産額・1株当たり当期純利益



産業設備関連事業

各種製造施設において最適な清浄環境を提供する空調衛生設備工事に関する分野です。
当期は、設備投資が落ち込んだ前期と比べ低水準ながらも回復傾向にあり、工場などの既存設備のリニューアルが堅調に推移したため、受注高は前期と比べ増加いたしました。
今後は、震災復興投資に加え、新規の設備投資も徐々に回復するものと思われませんが、省エネ・節電といったニーズに応え、新規取引先の開拓にも取り組んでまいります。

一般ビル設備関連事業

オフィスビルなどにおいて快適な生活環境を提供する空調衛生設備工事に関する分野です。
当期は、公共投資が落ち込み、官公庁からの受注が前期と比べて大きく減少しましたが、医療・福祉・教育施設の受注が堅調に推移したため、前期並みの受注を確保いたしました。
今後も同事業分野における受注環境は、低水準での推移が見込まれますが、当社が得意とするリニューアル工事の受注拡大に取り組んでまいります。

電気設備工事業

連結子会社の松浦電機システムが、電気設備工事を中心に、太陽光発電やLED照明などの省エネルギー技術の提案・施工・メンテナンスを実施しております。

設備改善工事

施設のロングライフ化に貢献するメンテナンス工事と、経年劣化した設備の機能回復やより効率的なシステムへの見直しを図るリニューアル工事を中心とした事業分野です。
近年、特にリニューアル工事は省エネや環境保全の面から注目され、また今後も成長が見込まれています。

会社概要／株式の状況

会社概要（平成23年3月31日現在）

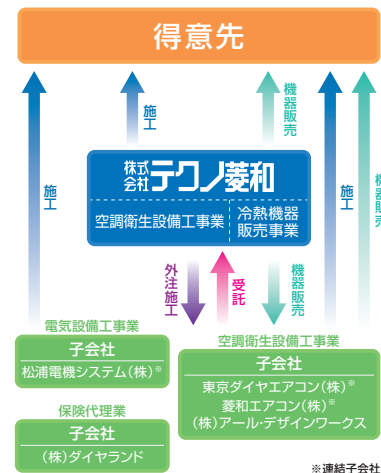
商号	株式会社テクノ菱和 (英文表記 TECHNO RYOWA LTD.)
設立	昭和24年12月23日
資本金	2,746,800,000円
上場	東京証券取引所市場第二部
従業員	678名
本社	東京都豊島区南大塚2丁目26番20号
登記上の所在地	東京都港区赤坂8丁目5番41号

主な事業所	技術開発研究所（東京都世田谷区） 東京本店（東京都豊島区） 茨城支店（茨城県土浦市） 東北支店（宮城県仙台市） 千葉支店（千葉県千葉市） 横浜支店（神奈川県横浜市） 名古屋支店（愛知県名古屋市） 静岡支店（静岡県静岡市） 大阪支店（大阪府大阪市） 中国支店（広島県広島市） 九州支店（福岡県福岡市）
-------	---

役員（平成23年6月29日現在）

代表取締役社長	阿部捷司
常務取締役	黒田英彦
常務取締役	堂垣重晴
常務取締役	平松博
取締役（社外）	武田公温
取締役	井尻雅之
取締役	飯田亮輔
取締役	松橋秀明
取締役	知見扶公
取締役	永江繁
取締役	濱野豊
取締役	根岸孝雄
取締役	岡田秀司
常勤監査役	菱沼正義
常勤監査役	近重次郎
監査役（社外）	吉田達法
監査役（社外）	山田英雄

企業集団の状況



連結子会社

東京ダイアエコン株式会社	住所	東京都新宿区
資本金	30,000千円	
主要な事業の内容	空調衛生設備工事業	
菱和エアコン株式会社	住所	愛知県名古屋市中区
資本金	40,000千円	
主要な事業の内容	空調衛生設備工事業	
松浦電機システム株式会社	住所	大阪府守口市
資本金	20,000千円	
主要な事業の内容	電気設備工事業	

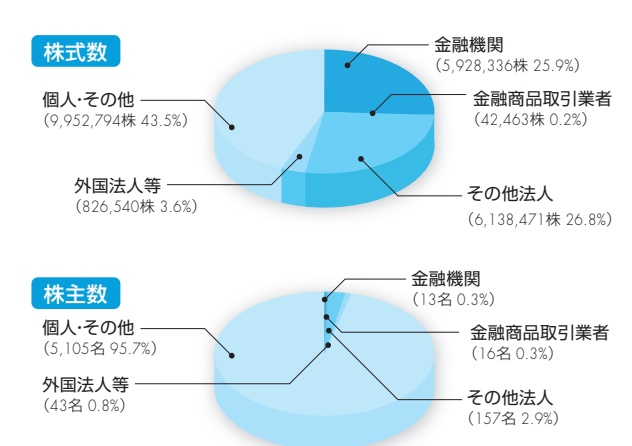
株式の状況

発行済株式の総数	22,888,604株
当期末現在の株主総数	5,334名

大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
テクノ菱和取引先持株会	1,720	7.5
三菱重工業株式会社	1,424	6.2
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,131	4.9
株式会社みずほ銀行	1,131	4.9
近重 次郎	970	4.2
東京海上日動火災保険株式会社	903	3.9
テクノ菱和従業員持株会	851	3.7
株式会社名古屋銀行	738	3.2
明治安田生命保険相互会社	734	3.2
株式会社京葉銀行	723	3.1

株式の分布状況



株主アンケートのお願い

株主のみなさまのご意見を伺い、今後のIR活動の参考とさせていただきますため、株主アンケートを実施いたします。ご協力くださいますようお願いいたします。

●集計期間：平成23年7月31日到着分まで

ホームページリニューアルのご案内



このたび当社では、ご利用される方により見やすく、より分かりやすい情報提供を行うため、ホームページのリニューアルを行いました。株主のみなさまに対しても、当サイトを利用してIR情報をはじめとした当社のさまざまな情報を積極的に発信してまいりますので、今後とも当社への情報収集のツールとして、新しくなったホームページをぜひともご利用ください。

<http://www.techno-ryowa.co.jp/>

株主優待制度のお知らせ

当社株式を決算期末日に100株以上ご所有の株主様に静岡の新茶をプレゼントいたします。

ご優待品「特選茶」



ご優待内容	
ご所有株式数1,000株以上	静岡の新茶2パック贈呈
ご所有株式数100株以上1,000株未満	静岡の新茶1パック贈呈

株主メモ

事業年度 4月1日から翌年の3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 定時株主総会 3月31日
期末配当金 3月31日
中間配当金 9月30日

株主名簿管理人および
特別口座管理機関 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号
TEL 0120-232-711（通話料無料）

単元株式数 100株

公告掲載URL <http://www.techno-ryowa.co.jp/>
(ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じた時には、日本経済新聞に公告いたします。)

諸手続き
お問い合わせ先 【住所変更、買取請求その他各種手続きについて】
●証券会社をご利用の株主様
お取引の証券会社等にお問い合わせ下さい。
●特別口座に記録された株式をご所有の株主様
特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行株式会社にお問い合わせ下さい。

【未受領の配当金について】
未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株式会社 **テクノ菱和**

<http://www.techno-ryowa.co.jp/>

〒170-0005 東京都豊島区南大塚2丁目26番20号

お問い合わせ TEL : 03-5978-2541



環境に優しい植物油インキを
使用して印刷しています。